

2019 年度実施概要

学校名

長野県松本市立田川小学校

採択活動名

山・川・海をつなぐ環境教育

取り組みの概要

社会と総合的な学習の時間を横断的に扱った4年生を中心とした活動

身近な川も水の循環によって海とつながっていることを知り、水資源の大切さに気付いていく学習
学習内容

(a) 水はどこから（4年生）

社会「水はどこから（飲料水の確保）」を中心に、水源の森の役割やきれいな水をつくる施設について、本山浄水場、宮渕浄化センター等の見学も行いながら学習した。

(b) 人の暮らしと川（4年生）

水を飲料水として利用するだけではなく、水運利用していた地域の歴史、犀川通船の教材化

- ・船着場跡の石碑見学（学区内にかつて存在した船着き場）と地区の方へのインタビュー等を通して、川と暮らしの結びつきを知る。
- ・海までつながる川の流れるに興味をもち、川下り体験（ラフティングボード）を行った。
- ・環境技術センターでは、海や川の水が蒸発して雲となり降水するという水の循環について、話を聞いたり実験したりしながら体験的に学んだ。
- ・地球にある水の97%は海水で、飲み水は0.01%しかないことを知り、水を大切にしたいという思いをもつことにつながった。

(c) 高学年につながる体験活動 ～川の生き物さがし～

- ・湧水での生き物調査（2年生）、田川での生き物調査（3年生）

水生生物による水質判定では比較的良いことが分かり、田川の良い環境をこれからも維持していこうという意欲をもつことにつながった。

来年度の構想について

さらに海とつながる学習とするため、高学年で次の内容を検討していきたい

- ・マイクロプラスチックによる海洋汚染（5年生）
- ・気候変動と海の関連（6年生）

活動中の写真



実施単元名

1. 水はどこから（4年生）
2. 人の暮らしと川（4年生）